WHILL

東京海上ホールディングス

WHILL社と東京海上ホールディングスは資本業務提携にあり、近距離モビリティのより安全で便利な
利活用を推進する事を目的として、本ガイドブックを制作いたしました。

2026.09

WHILL



近距離モビリティで
もっと安心・快適に移動していただくために

安全利用ガイドブック

東京海上ホールディングス 共同制作

webでもcheck!

目次

近距離モビリティとは 3-4

近距離モビリティのタイプ.....5-6

「歩行者」としてのルール 7-8

通行時に気をつけること 9-10

乗車時の心得 11-12

もっと安心・快適にウィルでお出かけを！

スクータータイプ「Model R/S」の乗り方 15-17

チェアタイプ「Model C2/C Lite/F」の乗り方..... 18-19

「Model C2/C Lite/F」他の移動手段との併用 21-22

バス・タクシーでの固定方法 23-25

機体のサポート箇所 26

より長く快適に乗っていただくために 27-28

より安全に使っていただくための各地での取り組み 29

困ったときは 30



近距離モビリティとは

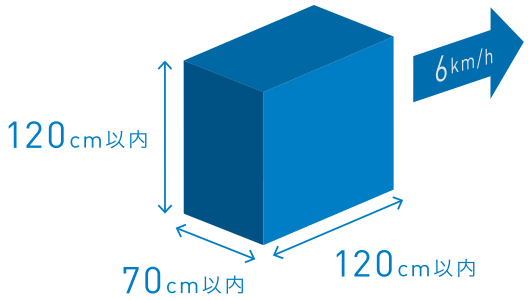
免許不要で歩道を走れる、
歩行領域をカバーする電動の近距離用の移動手段です。
時速6km以下で走行し、
道路交通法上、歩行者扱いとなります。

電動車椅子の規格について

近距離モビリティは「電動車椅子の規格」で作られています。この規格とは、道路交通法施行規則第一章第一条第一条の四で定められており、主に以下のような規格に準じています。

1.車体の大きさ

長さ：120cm以内
幅：70cm以内
高さ：120cm以内



2.車体の構造

・原動機として電動機を用いること
・時速6kmを超える速度を出すことができないこと
・歩行者に危害を及ぼすおそれがある鋭利な突出部がないこと
・自動車又は原動機付自転車と外観を通じて明確に識別できること

参考：道路交通法施行規則第一章第一条第一条の四



近距離モビリティのタイプ

スクータータイプ

ハンドルがあり屋外を安定して走ることができます。





チェアタイプ

片手で操作でき小回りがききます。



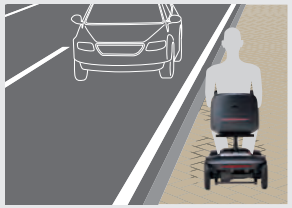


「歩行者」としてのルール

近距離モビリティは道路交通法上で「歩行者」の扱いです。
走行できる場所は“歩行領域”になります。
道路標識でも「歩行者」としてのルールが適用されます。

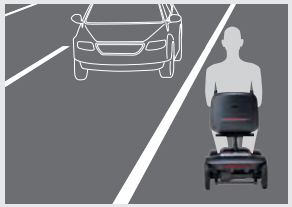
歩道あり

歩道を走行



歩道なし

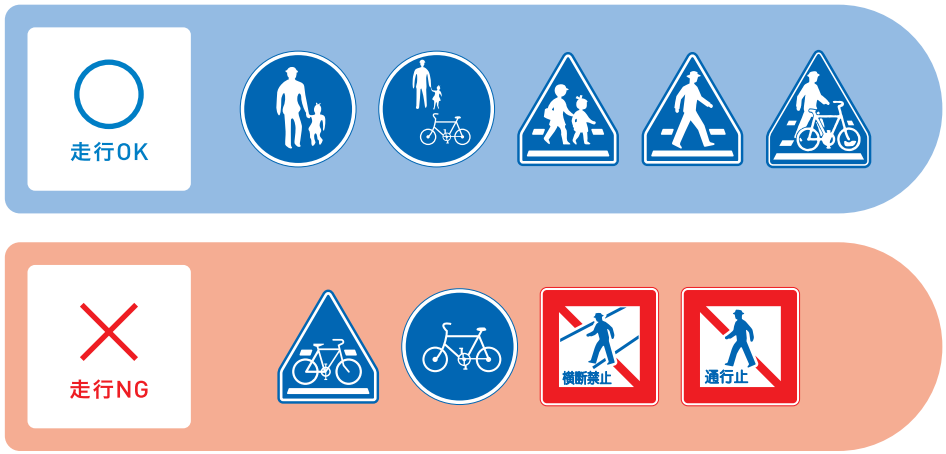
路側帯を右側通行



歩道・路側帯なし

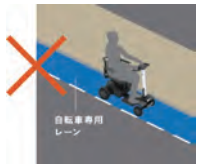
道路を右側通行





TIPS

「歩行者」とはいえ近距離モビリティは乗り物です。
みんなが快適に安心して通行するため、周りの安全を確認したり、譲り合いの気持ちで走行しましょう！

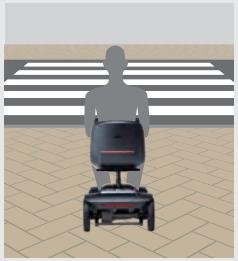




通行時に気をつけること

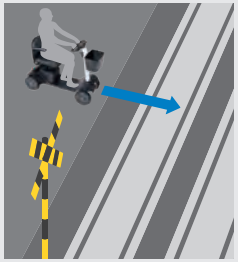
道路を横断するとき

横断歩道を通行



踏切を渡るとき

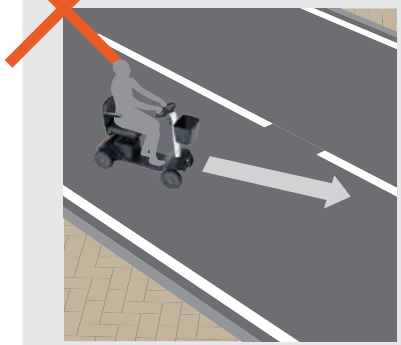
手前で一旦停止
線路に対し直角に通行



信号を渡るとき

余裕を持って
次の「青」を待つ





道路の斜め横断



大型車近くを走行



乗車時の心得

※操作には正確な注意力と判断力が要求されます。
ご不安の際はご家族やお医者様などとご相談ください。

飲酒後や体調不良時の運転は避ける



携帯電話のながら運転はしない



身体を機体から乗り出さない



注意すべき場所や時間



坂道

走行時は直角に進入し、
上り降りともに「前進」で
通行

※機種によって登坂角度は異なる



段差

走行時は
直角に進入

※機種によって越えられる高さは異なる



深い溝

踏切や路上の溝
走行時は直角に進入



傾斜地

身体の重心を
斜面の高い方に
かけながら通行



夜道

ライトや
反射板を活用



悪天候

路面が濡れていたり
凍結している場合は
注意

もっと安心・快適に
ウィルでお出かけを！

ウィルは近距離モビリティの一つで、
免許不要で歩道を走れ、「歩行者」の扱いです。
近年は距離に応じた使い分けや、自転車の
代わりとして自動車ディーラーや家電量販店
などで全国に取り扱いが広がっています。

全国の
ウィル取扱網
普及拡大中！







R/S

スクータータイプ

Model R/Sの乗り方

1



キーを差し込み電源を入れます。

2



「D(右)」のアクセルレバーを握れば前進、「R(左)」を握れば後進します。
アクセルレバーを離すとブレーキがかかります。

3



進みたい先にハンドルを切り、方向転換をします。

乗車時の基本姿勢



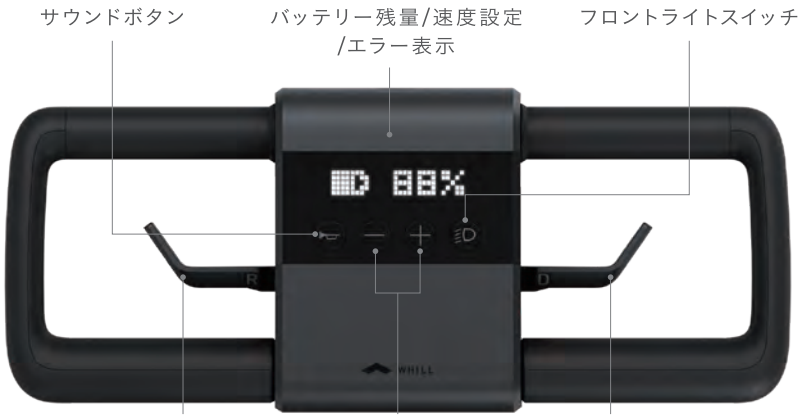
両手の基本位置はハンドルにあり、アクセルレバーは片方ずつ握ってください。

※指を同時に両レバーにかけないでください。



走行中は機体から足などを出さないでください。

※レバーから手を離せばブレーキがかかりますので、足で咄嗟に止めようとするのはやめてください。



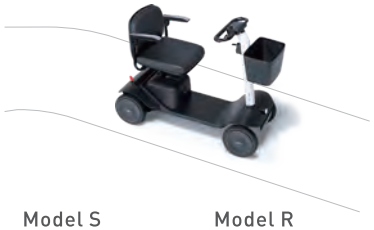


段差乗り越え



Model S	Model R
7.5cm	5cm

走行可能距離



Model S	Model R
33km	30.1km

*長距離モデルの場合

重要！ 電源が切られた状態で、乗り降りしましょう！服や身体が操作部に当たり、思わず動いてしまうことがあります。

Model Sの操作ガイド動画はこちらから

C2/C Lite/F

チェアタイプ Model C2/C Lite/Fの乗り方

※スクータータイプ「Model R/S」には当てはまりません。

1



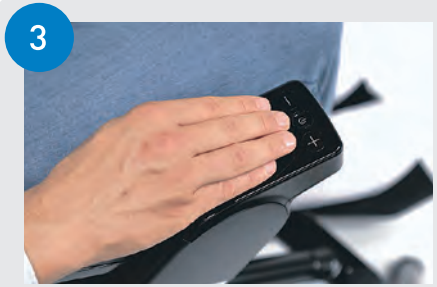
電源ボタンを押して電源を入れます。

2



「＋/－」で速度を4段階で調整します。

3



進みたい先にコントローラーを倒します。手を離すとブレーキがかかります。



段差乗り越え

C2:5cm

C Lite:5cm

F : 3.5cm



最小回転半径

C2:76cm

C Lite:81cm

F : 78cm



重要！

電源が切られた状態で、乗り降りしましょう！
服や身体が操作部に当たり、思わず動いてしまうことがあります。

操作動画は
こちらから

ウィル利用前チェックリスト

ウィルをより快適に使うために必ずチェックしましょう！

- [ ] ウィルでの移動は歩行者扱い。「歩行者」としての交通ルールやマナー（本ガイドブックp7~10）、製品使用の注意点を理解した。
- [ ] 本体付属の取扱説明書に記載の製品使用の際における、安全上の警告や注意の内容を正しく理解した。
- [ ] 月に1回は充電することなど、充電に関する注意を正しく確認した。
- [ ] 自分自身で何度かウィルの操作を練習し、操作方法を正しく理解した。
- [ ] アクセルレバー/コントローラーから手を離せばブレーキがかかることを何度か練習し、正しく理解した。
- [ ] 乗り降りする際は、電源が切ってあることを毎回確認することを、正しく理解した。
- [ ] 操作に必要な注意力や判断力を備えている。
※不安な場合はご家族やお医者様とご相談ください。

上記項目すべてについて、確認しました。

年　月　日　署名：

C2/C Lite/F 他の移動手段との併用

チェアタイプはその場で一回転できる高い小回り性能が特徴です。屋内などにも入りやすいほか、分解や折りたたみができるため、交通機関を利用して行動範囲をぐんと広げることができます。



エレベーターの中でも回転できます！



車載





※Model C LiteとModel Fは折りたたんで簡単に車載できます。
※Model RとModel C2は分解して車載が可能です。

列車







飛行機



※大容量バッテリーの機内持ち込みはできません。

飛行機を利用する際の詳しい情報はこちら

TIPS

公共交通機関を利用する際は、事前のお問い合わせが安心。
また、周囲の人との譲り合いの気持ちで利用しましょう！

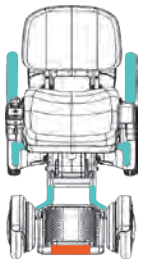
C2/C Lite/F 固定方法（バス・タクシー）

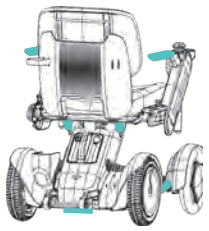
※スクータータイプ「Model R/S」には当てはまりません。

- p25のQRコードから公共バス利用マニュアルをダウンロードできます。バス・タクシーの乗務員に提示してください。
- バス・タクシーの仕様や装備により利用が困難な場合があります。事業者に、事前に確認することをお勧めします。
- 利用方法に沿った利用ができない場合、バス・タクシーの利用をお控えください。

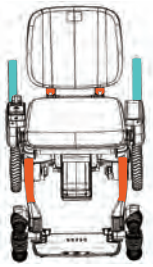
本体固定箇所　本体の固定には使用しない

Model C2の場合





Model C Liteの場合





Model Fの場合





1 背後から押す設計ではないため、
利用者様ご自身で操作してください。

※サポートが必要な場合は、アームレスト（肘置き）の先端を
後ろから支えていただけます。次章に図解しています。

2 機体固定後は必ず電源を切ってください。

3 走行中はバスやタクシーのシートに
移乗することをお勧めします。

4 スロープを利用する時は

上り坂は
体重を前に！



下り坂は
体重を後ろに！



重要！

1. 速度は1もしくは2に設定してください。登坂速度が速いとスロープを登り切った後に、車内の備品への衝突や、他の乗客への接触事故が発生する恐れがあります。
2. 後進での乗降はしないでください。進行方向の路面を正しく視認できず、スロープから落下する恐れがあります。
3. 雨天時はスロープが滑って乗車ができない可能性があります。ご利用の際は十分注意してください。

※バス事業者様へ
乗降時は「ニーリング*」機能を活用することを推奨いたします。

*ニーリング：バスのエアーサスペンションで車高を低くする調節する機能。停車時のみ使用可能。

車内での固定について

- 車内では固定バンドで固定することをお勧めします。
- バスの不意の急ハンドルや急ブレーキによってウィルが動いてしまい、ご利用者様自身、または周囲の乗客の怪我の原因になることがあります。乗務員の指示に従って必要な固定を行ってください。
- 乗車中は必ず電源を切り、誤ってコントローラーに触れても動作しないようにしてください。
- 乗務員に固定位置を伝えるため、固定位置に明色や反射材のテープを貼ることをお勧めします。
- 本製品は、一般的な車椅子と同様、バス等での固定利用を想定した耐久確認を行っています。ご利用の際は、交通事業者の運用ルールおよび乗務員の指示に従ってください。

公共バス利用マニュアル

公共交通事業者のみなさまへ

WHILL社では、バスやタクシー利用時の近距離モビリティの固定や取扱い方法について勉強会を行っています。
ぜひ一度、お問い合わせください。

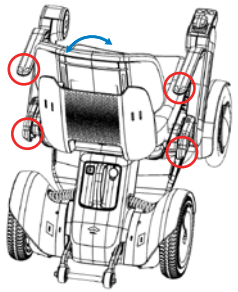
C2/C Lite/F 機体のサポート箇所

※スクータータイプ『Model R/S』には当てはまりません。

後ろからサポートできる、固定部を紹介しています。
なんらかの理由で一時的に後ろからサポートする必要がある場合の参考としてご活用ください。

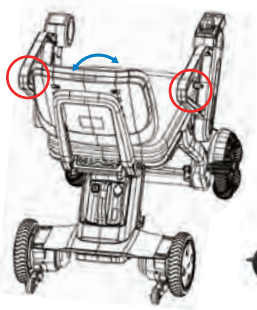
◯ 固定部のため後ろからサポート可能

Model C2 / の場合



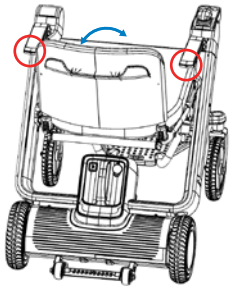


Model C Liteの場合





Model Fの場合





重要！



機体は人が乗った状態で背後から押す設計ではないため、原則として利用者様ご自身で操作してください。
何らかの理由で一時的にサポートをしたいという場合に、機体の固定部をサポート箇所として支えるようにしてください。

より長く快適に
乗っていただくために

より長く快適に近距離モビリティをご利用いただきたい!
そんな思いから、さまざまなサポートサービスをご用意しています。

日々のチェック項目

- □機体は汚れていませんか？
- □タイヤに砂利や泥が付着していませんか？
- □バッテリーは十分ありますか？
- □ライトは消えていませんか？

詳しくは本体に付属の
取扱説明書をご覧ください。

WHILLの定期点検サービス

WHILL点検パック

全国のウィル認定修理取扱店で
メンテナンスのプロが
安心安全なウィルライフを
サポートします。

くわしくは
こちらから

万が一に備え、
保険などのサポートサービスも

WHILL Smart Care

東京海上日動が開発に協力　TOKIO MARINE 東京海上ホールディングス

本人も家族も安心なサービスもご用意



※実際の商品にはアームレストが標準で付属しています。公道の走行時にはアームレストの着用が義務付けられています。

より安全に使っていただくための各地での取り組み

簡単で直感的な操作が特徴ですが、
より安心・安全に使っていただくため、地元の自動車販売店や警察、
交通事業者などと協力して近距離モビリティの
安全運転講習＆試乗会を開催しています。



福井県での事例



県警、福井ディーラーと
連携実施したウィル講習会

山梨県での事例



県警、山梨ディーラー、
東京海上と連携した高齢者向け
ウィル安全運転講習

困ったときは





なんでもご相談ください！

TEL：0120-696-527

※通話料無料、平日9:00-18:00

WHILL社HP

WHILL社は「すべての人の移動を楽しくスマートにする」をミッションに、近距離移動のモビリティ・ソリューションを提供しています。ハードウェアとソフトウェアを融合させたサービス体験で、身体状況や年齢などに関わらず、誰もが自由かつ快適に移動や外出を楽しめる世界の構築を進めています。